

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		地区まちづくりの推進				所管	都市づくり部 まちづくり推進課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	91	計画事業名	地区まちづくりの推進		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (5) 区民主体のまちづくりの促進					[事業開始] 平成 1 0 年度	
		[施策] ① 地区まちづくりの推進[35]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区まちづくり相談員派遣要綱、台東区まちづくり活動推進団体補助金交付要綱			
	事業対象	区民等、まちづくり団体						
	事業目的	区民主体の自主的なまちづくりを支援することにより、まちづくりの気運を高め、地域特性を活かした良好な市街地形成や定住促進、安全で住みよいまちづくりに寄与する。						
	事業内容	区民主体の自主的なまちづくりの支援として、①建築物の共同化や市街地整備の取り組みなどを行うまちづくり団体等に対し、台東区まちづくり相談員派遣要綱における相談員を派遣し、技術的な支援等を行う。②まちづくり活動推進団体に対し、活動経費の一部を助成(補助率1/2)する。						
委託の有無	一部委託		委託内容	まちづくり相談員派遣業務委託				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	まちづくり推進団体への補助	地区数	2	2	1	1	
		相談員の派遣	地区数	5	5	5	5	
	成果指標	まちづくり提案	件数	4	2	4	3	
	決算額 (単位：千円)				4,548	3,780	3,745	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			15,661	21,242	29,400	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			4,024	3,681	3,645	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			525	100	100	
		総経費			20,210	25,023	33,145	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			400	400	0	
一般財源 (区負担額)			19,810	24,623	33,145			
前年度から改善した事項		平成25年度から要綱を改正して(平成25年4月1日施行)、支援策の見直しを行った。協議会の継続年数により支援方法を変えることで、より効果的かつ適正な支援が可能となった。						
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	本区においては、既存市街地を適切に更新していく必要がある。地区それぞれが個性のあるまちづくりを進めていくためには、区も側面からその活動を支援していくことが重要であるため、本事業の必要性は高い。					
	効率性	3	区民主体によるまちづくりには長い年月が必要であるが、平成25年度より支援策の見直しを行ったことにより、まちづくりの活気につながるような区民の自主性を促す効果が表れた。今後も継続して効率的な手法を考慮し、支援を進めていく必要がある。					
	手段の適切性	3	平成25年度から支援策の見直しを行っており、新規の相談や協議会活動の自立を促す効果が得られたが、より幅広い支援を行うために、適切な手段を検討していく。					
	目的達成度	2	平成25年度は、鶯谷駅において凌雲橋エレベーターが設置されるなど、住民からのまちづくり提案の対象となる事業があったため目標とする効果が得られたが、事業数は目標値に達していない。今後は更なる成果が見られるよう、支援策を見直していく。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
現在、区が支援を行っているまちづくり協議会は継続して活動しており、活動の到達目標達成に向けて検討を行っている状況である。よって、今後も事業を継続して維持していくとともに支援策の充実を図り、区民主体のまちづくりへの意識を高め、自立を促していく必要がある。また、現在協議会活動がない地域に対しても相談体制や支援策を見直しつつ、地域特性に応じた方策を検討していく。								
					維持			